Operation Raleigh News

Operation Raleigh DENSO

NO.23

昭和61年(1986) 9月5日(金)
毎月1回発行

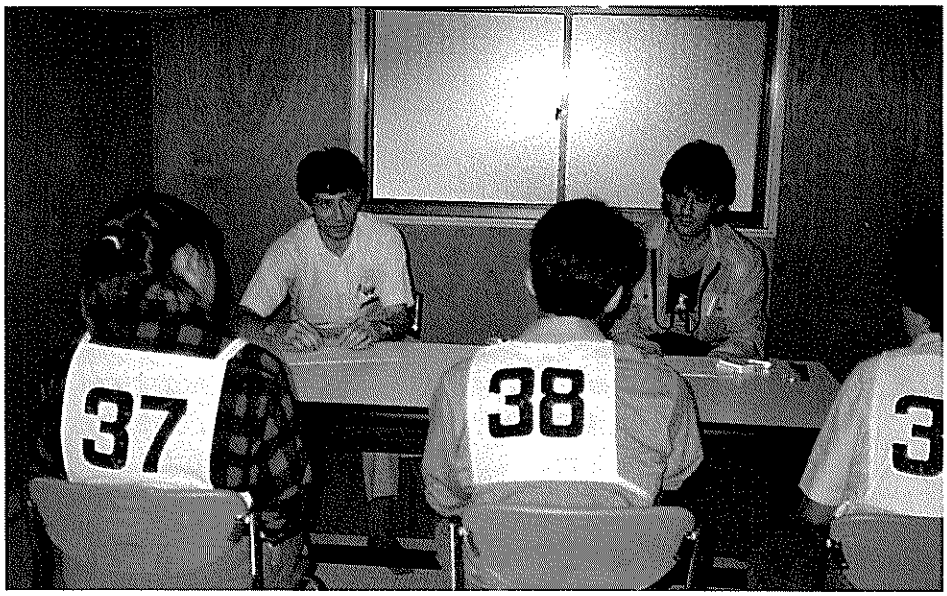
●発行所 オペレーション・ローリー日本委員会
〒104 東京都中央区築地1−7−10 築地オーミビル502号
電話 東京(03)544−7413

●このオペレーション・ローリーニュースは日本電装㈱のご協力で制作されたものです。

「ユーモア・冒険心」に重点 第3次審査実施

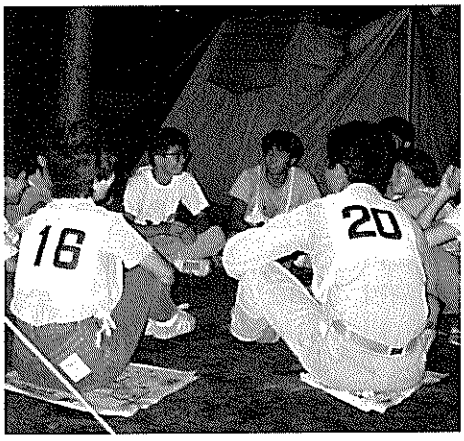
1986年次オペレーション・ローリー日本代表派遣青年を決める第3次審査が、8月23日(土)24日(日)東京地区・群馬県水上宝台樹(みなかみほうだいき)／武尊(ほたか)青少年旅行村、8月30日(土)31日(日)大阪地区・滋賀県朝日の森自然研修所で行われました。第2次審査合格者100名が参加、両地区とも当日は午前9時に集合し、バスでそれぞれの目的地へと向かいました。(以下両会場ともほぼ同じスケジュールで進行)

現地到着後、テントサイトへ移動・会場の簡単なインフォメーション・グループ編成・グループリーダーの紹介・昼食・小休止の後、いよいよ2班に分れて審査にはいりました。



緊張のなかにも若者らしさ

面接審査では、『適性』『協調性』『ユーモア』『熱意』『良識』『独創性』『冒険心』『可能性』『国際性』『応募の動機』など10項目についての質問がなされました。続く英会話審査でも終始リラックスしたムード作りの配慮がなされ、受験者も緊張感のなかに若者らしい普段着の素顔をのぞかせていました。飯盒炊さんの夕食は、和気あいあいで終始笑い声や歓談につつまれ、しばし受験者たちもくつろいでいる様子でした。

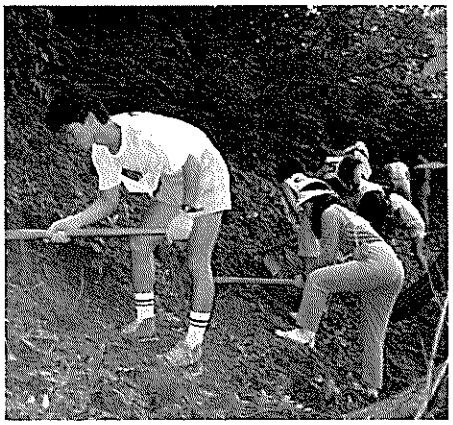


心地よい疲労を残して

夕食後午後7時30分から、審査の対象となるグループディスカッション、さらに9時からはプレゼンテーションの形で討論内容の発表がなされ、熱い夜が続きました。

翌2日目は、午前6時起床。飯盒炊さんの朝食の後、再び面接審査、英会話審査などが行われました。

第3次審査ではさらに、野営実技もメニューに組まれており、『アウトドア適応』『リーダーシップ』『協調性』『処理能力』『計画性』といった観点から評価がなされました。『人事を尽して天命を待つ』といった風情の受験者たちは、心地よい疲労を感じながら、それぞれの帰途につきました。



なお、1986年次代表青年は、9月5日(金)のＯＲＪＣ実行委員会で最終審査され、同17日(水)のＯＲＪＣで承認、発表される予定で、30名は10月17日(金)からの丹沢でのオリエンテーションに参加します。

日本代表派遣青年のページ

特集 パプアニューギニア オーストラリア組 帰国インタビュー

「人間はあくまで人間だ。」外国人との心のふれあいで実感

パプアニューギニアフェイズに参加していた中山、長谷川君、オーストラリアフェイズに参加していた福井、鈴木、安田君、金田さんが7月、8月にあいついで帰国しました。帰国後、アンケートに答えてくれましたので、ご紹介します。

Q1　ORへの当初のもくろみは？

中山　パプアニューギニアという国に関心をもっており、熱帯雨林調査には科学的な興味がありました。

安田　新しい価値感や別の視野が持てればと思いました。

金田　多種多様な人種の人々が集まる世界に踏み出し、しかも母国語でない言語を使って生活するなかで、単一民族の中で育った自分が一人の人間としてどんなであるのか、見つめてみたいと思いました。

鈴木　日本とは異った環境で見聞きするさまざまな出来事や、人々とのふれあいを楽しみにしていました。

福井　『何でも見てやろう』というどん欲な気持で、自分の生き方を開拓できればと思いました。

"Enjoy Yourself"

Q2　帰国後のORへの評価は？

鈴木　お世辞ぬきに素晴らしいプロジェクトでした。僕たちだけでなくもっと多くの日本の若者にも、こんな機会があればと思いました。

金田　プロジェクトもその運営も、想像以上にきちんと組織化されていて『若者同士の交流』というORの主眼を、スタッフがしっかり認識しているようでした。

福井　その規模の大きさや、日本では考えられないぐらい大がかりな公共機関の協力が得られたこと、プロジェクトがよく練られたものであることなど、驚かされ感心させられることばかりでした。それからすべてにおいて"Enjoy Yourself"の精神が強調され、各自の自主性が大いに尊重されたのは、素晴らしいと思いました。

Q3　苦労したことは？

中山・鈴木　言葉です。

安田　相手を傷つけずに、自分の主張を理解してもらうことです。

長谷川　足の傷が化膿して、パトロールにも参加できず完治まで2ヵ月もかかったことです。

金田　特にありません。

福井　全体ミーティングで、うまく自分の意見を言うことができず苦労しました。

Q4　楽しかったことは？

鈴木　外国、それもオーストラリアでいろいろな国の人たちと生活できたこと、このことにつきます。

金田　アボリジニーの子供たちと、話したり歌ったりしたこと。壁画捜しのプロジェクト。すべてが楽しい思い出です。

福井　普段できないことを体験
いるという満足感から、辛い
やおもしろい楽しさといった、
な楽しさをすべてに感じました

中山　現地や世界各国の人々と
ちになれたことです。

安田　キャンプファイヤーを
夜を過したこと。

長谷川　あまりに多すぎて、
ひとつあげることができません

Q5　異国人とのふれあいで
ことは？

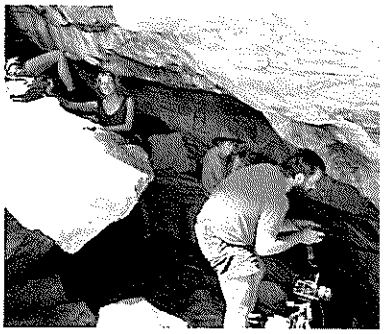
中山　相対的なものの見方を
との必要性。

安田　誠実であることが、何
大切だと感じました。

長谷川　PNGの人々には新
らしい、過去の伝統を大切に
持ち以上の、未来にかける意
が感じられました。

金田　生真面目な日本人に比
人は、すべて心から楽しもう
姿勢で、さらりとやってのけ
す。彼らの社交術も、作法も、
までもが会話から成り立って
感じました。

福井　彼らはとにかく底抜け
い。人生そのものを楽しんで
うに思われました。



Q6　参加したフェイズで一番
的だったことは？

安田　スネル氏が活動地を訪
たことです。

長谷川　サバイバルトレーニン

福井　何百もの蚊やハエには、
ぶん悩まされました。

金田　オーストラリアには日本
(車、カメラ、テレビ、時計 et
溢れていて、びっくりしました

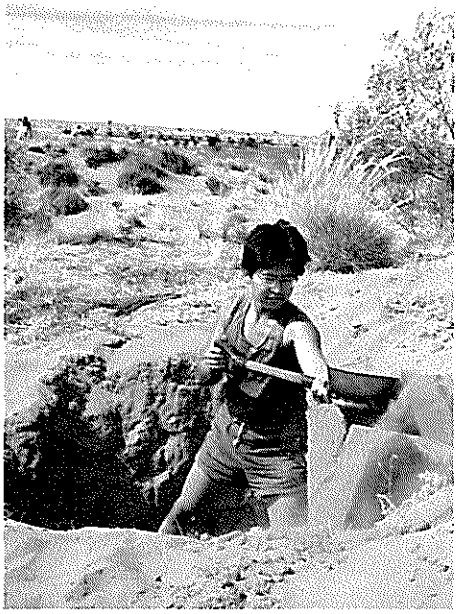
Q7　有意義だったプロジェク
何でしたか？

長谷川　桟橋建設。

鈴木・金田　アボリジニーの壁
索。彼らの素朴で繊細な感情に
たような気がしました。

福井　グレゴリー国立公園でのプロジェクト。自分たちの努力が、目に見える形となってオーストラリアに永久に残ると思うと、本当に意義の深さを感じます。

安田　クリスマスクリークの砂漠における考古学調査。



人間同士のつきあい

Q８　日本人と外国人との大きな違いは？

中山　宗教などの文化的背景ぐらいで、あまり違いがあるとは感じなかった。強いてあげれば個人と社会との関わり方です。

長谷川　人間はどこまでも人間だ、という印象しかありません。

金田　楽天的で、すべてを楽しんでしまおうという外国人たち。私たちと、考えかたが一番違うと感じたのは『男女の関係』。お互いに尊敬しあい、人生における不可欠のパートナーとして、異性を求めている感じで、男女のカップルがごく自然な社会の単位として存在していました。

福井　仕事と遊びの明確な区別をする日本人と違って彼らは、歌とジョークを絶やさずに楽しんで仕事に取り組んでいました。

鈴木　それぞれの国の文化的な違いはあるにしても、日本人も外国人もほとんど変りがないというのが実感です。ただ人間にはいろいろなタイプの人間がいるというだけで、相手が外国人であろうと、根本的に人間同士のつきあいであることに変りありません。つきあえばつきあうほどそう感じました。

Q９　事前にマスターしておけばよかったことは？

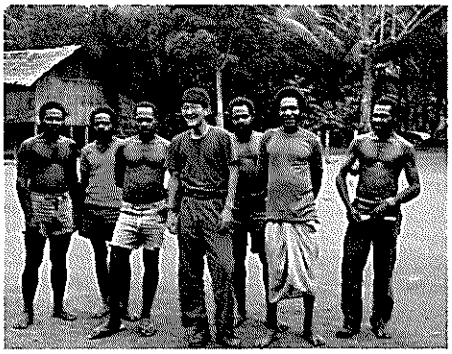
福井　英会話はどうしてもマスターしておくべきだった。

金田　日本のことをもっと詳しく、英語で説明できるようにしておくとよかった。

中山　現地の気候・植物等地理的調査と英語です。

長谷川　縄の結び方です。これには苦労しましたから。

鈴木　料理とみんなで楽しめるゲームのレパートリーが、多ければ多いほどいいと思いました。あと、英語に関しては、上手に話せるにこしたことはないけれど、それなりのコミュニケーションができることを最終的に感じました。だから、これといって特に問題になるようなことはないと思います。



Q10　今、最もしたいことは？

金田　写真の整理をしながら思い出をかみしめたい。

長谷川　ぐっすり眠りたい。

安田　日本を含め、もっと多くの国々の文化や自然を知りたい。

鈴木　同じプロジェクトで活動した仲間と、今度は日本語で話し一緒に生活してみたい……なんて夢ですね。

中山　経験を活かし、自力での沢登りや山登りにチャレンジしたい。

福井　2年後にイギリスで開かれる、ＯＲのパーティに参加できればと、今から楽しみにしています。

デンソーに高い評価

Q11　日本電装に関する反応は？

鈴木・金田・安田　ベンチャラーたちは、エアーコンディショナーのカンパニーとして、日本電装の名前をよくしっていました。ＤＥＮＳＯの僕たちへのサポート（Ｔシャツ、フィルム、カメラ、ハッピetc）を、外国人の誰もが羨ましがっていました。

福井　費用の全額が電装の負担だと話すと、みな驚いていました。以後『日本電装ってどんな会社？』とさかんに質問されたので、工場見学させていただいた時のことを思いだして説明しました。

ベンチャラー便り

一足先に帰国した福井、鈴木、安田君、金田さん等と一緒にオーストラリアフェイズで活躍した藤本君は7月16日にすべてのプロジェクトを終え現在、ダーウィンでホームステイ中。そんな彼が近況を知らせる手紙を送ってくれました。

ＯＲ後の新たな第一歩を

ここダーウィンでは、幾度かの新聞記事やＴＶ放映でＯＲの知名度は高く、ネーム入りのＴシャツを着て歩いていると、いろいろな人が話かけてきます。こちらで仕事に就きたいという僕の希望も、それがきっかけで実現しました。観光に力を入れているノーザンテリトリーの外務省のような政府の機関で、日本人観光客のさまざまな資料を英訳する仕事をするかたわら、ボランティアで子供たちにテニスを教えたりもしています。明後日からは再びブッシュの中で、保安協会のひとたちと一緒に動物調査をする予定です。ＯＲで得た知識と経験が生かせる仕事と、お金では買えない経験を選び一歩踏み出したことで、意欲満々です。

その後は、ＯＲを通じて得た世界中の友人を訪ね歩くつもりです。

（８月２日　藤本圭太）

ゼブ号リザード島へ

帆船ゼブ号は、８月13日にケアーンズを離れ、翌14日から15日にかけて36時間ダラス港に停泊、そこからクックタウンを経て17日の夜リザード島に到着しました。

ゼブ号は、９月10日までリザード島周辺で航海を続ける予定です。

ＳＷＲ号のベンチャラーたちは、西サモアの暑さの中でたくさんの蚊に悩まされながらも、サバイバル訓練を含むすべてのプロジェクトの目標を達成し、現地の人々の多大な援助のお蔭もあってエクスペディションは大成功を収めました。一方、科学プロジェクト方面でも新種の発見がなされ、その成果が十分期待できます。

また、雨が降り続く悪天候の中、熱帯雨林を深い泥水につかりながら２日間もすすんだり、さまざまなトラブルのためにダイビング機材の一部を捨てなければならなかったりといった困難を克服して戻ってきたコラでのプロジェクトに参加していたベンチャラー達は、その努力がねぎらわれ現地の人たちから英雄の扱いを受けました。

アピアを出発し、日付変更線を横切ってトンガに到着したＳＷＲ号は遅れていた予定を調整し、８月20日にはフィジー諸島のスヴァに到着予定です。(以上ウイークリー・ブリテンNo.48より)

ＳＷＲ太平洋を横断

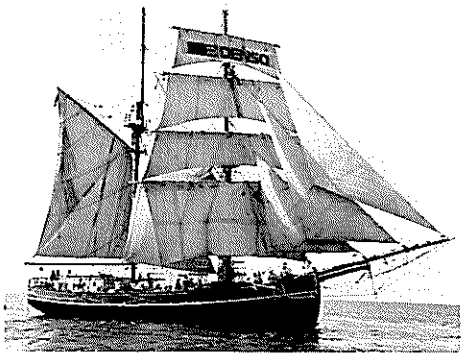
帆船ゼブ号は現在リザード島のワトソン湾にいます。ベンチャラーたちは帆走と航海(操舵)訓練を受けています。さらにダイビング訓練もやっています。彼らはケアーンズにもどる９月８日までリザード島とプリンセス・シャーラット湾で航海訓練を続ける予定です。

ＳＷＲ号は８月20日スケジュール通り、フィジーに到着しました。ＳＷＲ号に乗り組んだベンチャラーたちは５日間島を旅行し、８月25日にそれぞれの国に帰るまえのさよならパーティーの準備をしています。

トンガやフィジーからの科学レポートが待たれます。いずれにせよ、太平洋横断中の科学調査はすべての分野で大きな成果をあげたことでしょう。また、いくつかの新発見も明らかになるでしょう。ＳＷＲ号は、８月28日フィジーを出発し、９月６日から10日の間にケアーンズに到着する予定です。(以上ウイークリー・ブリテンNo.49より)

スネルOR副議長 帆船ゼブを激写

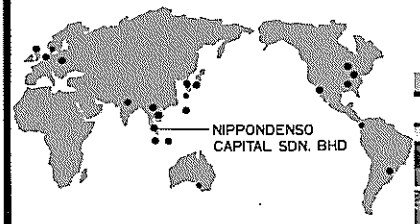
オーストラリアのケアーンズを現地本部として、オセアニア各地でのプロジェクトを視察・激励しているＯＲ英国本部評議会副議長のジョン・ブラッシュフォード・スネル氏がこのほどケアーンズ沖、グレートバリアリーフで活躍中のゼブ号を撮影した写真を送ってきました。



写真はスネル氏撮影のゼブ号と スネル氏＝ソロモン・フェイズで

デンソーワールドワイドオペレーションNo.12 ―― マレーシア

高温多雨の
365日。



美しい女性が多いマレーシア。その気候は厳しい熱帯多雨林。1年中暑く雨が多い、ムシムシの日が続きます。女性ドライバーたちは、窓もあけられないムシ暑さの中で、汗をかきかき運転しているようです。〈ニッポンデンソーキャピタル〉は、エアコンの、製造販売を行なっています。少しでも快適なドライブを楽しめるよう、より良い製品をより多くの人に…。デンソーマンは、この地でも大活躍しています。

NIPPONDENSO CAPITAL SDN. BHD
所在地：Lot2, Jalan P/1 Bangi Industrial Estate, Bangi, Selangor, Malaysia
売上高：1,062万ドル(25億4,840万円)－1985年度
従業員数：163人　〈1986年4月1日現在〉

DENSO
日本電装株式会社 〒448 刈谷市昭和町1-1 ☎(0566)22-3311(代)